

【本日の研修会に関してのご意見・ご感想がございましたら、ご記入ください】

- 1 小林さんの意見をもう少し聞きたかったです。(40代 女性)
- 2 日頃の自分を振り返る機会となりました。ありがとうございました。(40代 女性)
- 3 開催日程は、お盆明けの方が良いと思いました。(この時期は、家庭訪問、三者面談の時期)人権をたてに勝手気ままな行動や考え方の親子が増えているように感じます。(30代 男性)
- 4 教員は、何のプロなのかとういことが、心に残りました。(40代 女性)
- 5 三者の立場からの話が関わりを持って深化していくとより面白いと感じた。子どもにとっての尊厳を守ることと、失敗体験を減らし守ることはイコールではないはずなのに、そういった論調が強くなってきている。子どもの尊厳というものをどういったレベルで捉えているのか、三條先生にお伺いしたかったです。(20代 男性)
- 6 子どものこと、子どもの家族のこと、自分の家族のことをあらためて振り返る良い機会となりました。ありがとうございました。(30代 女性)
- 7 人権という堅いイメージを持ちますが、日常、クラス内、学校で何気ない対応の中に、子どもたちを認める事があると思いました。長時間にわたり多くのお話をいただきありがとうございました。(40代 女性)
- 8 話を聞くだけは、つらい。意見や質問も出ない研修会はやる意味があるのか？(40代 男性)
- 9 あいさつの中で、研修したことがないとか、よく分かっていないという言葉があり、そのことに驚いた。現職は、もっと身近に考えている。(40代 女性)
- 10 子どもを頭ごなしにしかることがあるが、人権があるのだという意識を持ちこれから接していきたい。(50代 男性)
- 11 フランスの人権宣言、アメリカの独立宣言、子どもの権利条約、男女平等云々。時代、社会は、人権(人道主義的人権)を尊重する流れに向かっています。日本でも、女性は、戦国時代や先の第2次世界大戦などで、「産めや増やせや…」と、道具として扱われた歴史があります。そうした過去から、新しい21世紀の世界はどうあるべきかのビジョンが、この講義の中に込められていたと感じました。一人一人の魂(エネルギーをもった一人)を大切に、子どもたちを畏敬の念をもって出会うことの大切さを改めて感じました。(60代 女性)
- 12 三條先生の話は、とても分かりやすく、また、お話を聞いてみたいと思いました。本当にありがとうございました。(40代 女性)
- 13 ちょっと時間が短かったのでは？もう少しじっくりお聞きしたいと思いました。(50代 女性)
- 14 今日的課題の内容であったと思う。人権とは”誇りをもって生きる権利”発達の問題を抱えている子についての本を読んだとき、愛着感情、自尊感情、自己肯定感という言葉が出てきた。心身ともに安定して生活するために、大事なことなのだろうと思った。人権について考える機会となった。(50代 女性)
- 15 日頃、何となく聞いている「人権」という言葉のもつ重い意味についてよく理解できました。(50代 男性)
- 16 初めは、難しい話題で気が進まない気持ちでありましたが、最後に、三條先生が「学校は、丸ごと受け止める場」「あいさつは、あなたを認めますの第一歩」とお話され、正に合点がきました。生徒ひとりひとりが自己の居場所があると認識できる場となるよう努めていきたいと感じました。(40代 女性)
- 17 ありがとうございました。(50代 女性)
- 18 研修の内容はよかったが、お話を聞いていて、とても疲れました。イスが堅くて座りにくいことや、時間が長いことがあるのではないかと思います。(50代 女性)
- 19 学力向上に向けての取り組みがなされている今、人権についてのお話を聞き、とても大事なことを育てていかなければならないと、改めて思いました。分かりやすいご説明ありがとうございました。(40代 女性)

- 20 改めて、人権について考え直すきっかけを持つことができました。この夏休みに、じっくり考えて、これからの行動に生かしていきたいと思います。(40代 男性)
- 21 教員に対して、人権についての研修は、頻繁にあるべきではないかと今回参加して感じました。いじめ問題や教師と生徒の関係について、また、人権教育を学校の子どもたちにも進めるべきだと思います。今一人ひとりを大切に教育につなげたいです。(50代 男性)
- 22 障害者の話は良かった。学校現場に即した話をもう少しして欲しかった。(20代 女性)
- 23 三條先生の学校という「場」の意味、教員の役割の私見、その通りだと思います。そのために授業があり、そのために行事がありなのだと改めて考えることができました。
もともと、私もそのことが重要だと思っていました。しかし、近ごろの学校現場、管理職はそのことを忘れがちになることがあります。
今日はとてもいい研修ができました。また、三條先生のお話をお聞きしたいと思います。
いじめに関する対応も、人権という点から、まだまだあまいなあと思いました。子どもたちに、もっとしっかりいじめが起きる前から授業と一緒にしていきたいと思いました。(40代 女性)
- 24 感性を豊かに、限界、委ねる、自己肯定感、力量の差、権力差、誤解している教師、誇りをもって生きる権利、考えさせられた時間になりました。ありがとうございました。(50代 女性)
- 25 鼎談は、マイクを3つ用意した方がいいと思う。人権を保障するというのは、抽象的な感じがする。もっと啓蒙が大切なんだと思う。(50代 女性)
- 26 本日は、大変勉強になりありがとうございました。(50代 男性)
- 27 親からほめられたことのない児童を学校で丸ごと受け止め、みんなからすごいねとほめられ、認められるようにしていくべきだと痛感した。(乱暴な行為、注意を聞けない、キレる→得意なことを広げていく。)(50代 女性)
- 28 生徒にも、話せる内容があり、機会があったら授業の中で生徒ともに「人権」について、考えさせたいと思いました。(30代 男性)
- 29 基本的な「人権」の考え方を学んだが、教員として具体場面でどうするか、我々は、「人権意識」を高めて…とよく話される。教育の場で、どう行うかについて、知りたいと思う。(50代 男性)
- 30 貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。お話を聞いていく中で、自分は「子どもの人権」については敏感でしたが、「高齢者の人権」については、理解・共感不足だったと気づきました。
私は、精神的DVが原因で調停離婚し、2人の子どもと自分の両親と暮らしています。自分の自尊感情はカウンセリングや友人の励ましで元通りになってきました。
しかし、両親の子ども(孫)への暴言(時に暴力)と、両親の不仲に困っています。
子どもたちは、県子どもセンター(クリニック)で、半年に1度ずつ診察を受け、今のところ元気に育っています。
両親については、時間があるときに「グチ」を聞く、目の前でケンカしているときには場を和ませるように振る舞う等しかしてあげられていません。両親自身が、悩みを話せたりする場、相手があればいいなあと思います。
とても、私ごとですが、両親について考える良い機会となりました。(40代 女性)